

(1)主眼(授業の手立て&ねらい)

劇団四季の子役を目指して稽古に励む嘉紀くんの動画を見て、自分の頑張りたいことに思いを馳せる子どもたちが、嘉紀くんがミュージカルの練習をする過程で感じた心情を考える場面で、周りよりダンスが下手な嘉紀くんは諦めずに練習を続けた4か月間でどんな気持ちになったのか多角的に考えることを通して、頑張るということについて具体的に考えを深め、自分の頑張りたいことにさらに向上心を持つことができる。

(2)展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」※留意点 ◎教材	時間
導入	1.動画を見る	「畑」「習い事」 「メラメラダンス」 「すごい」「カッコいい」	「みんなが今頑張っていることって何かな」と問いかけ、いくつか挙げさせる。 ※動画の前に劇団四季などの説明を加える 「今日はみんなに紹介したい動画があります」 ◎動画『目指せライオンキング』 →視聴後、嘉紀くんにクローズアップする	15
	2.練習を始めたばかりの嘉紀くんについて考える	「悔しい」「恥ずかしい」 「もうやめたくなるかも」 「諦めなかったよ」 「側転もできるようになった」 「目標があったからだよ」← 「私は頑張れる」 「私も無理って思うかも」	【補助発問】ほかの人より上手におどれないよしきくんはどう思ったのかな 練習をし始めたばかりの嘉紀くんの気持ちを考えるよう促す。 「でも、嘉紀くんは諦めてしまったの?」 とわざと問いかける。 「嘉紀くんは、どうして諦めないで練習を続けられたのかな?」 「先生だったら、諦めちゃうかもしれない…」 諦めないことについて心の葛藤を考えさせ、嘉紀くんが過ごした4か月に迫っていく。 【中心発問】よしきくんはどんなきもちで4か月間、れんしゅうしたのだろう	5
展開	3.4ヵ月練習していたときの嘉紀くんの気持ちを考える	「絶対合格したい」 「自分だったら、途中でいやになっちゃうかもしれない」	「諦めず頑張った」の過程で、嘉紀くんがどんな気持ちになっていたか考えて書かせる。 ◎ワークシート ※机間巡視をする	10
	4.全体で意見共有する	「本当は途中で諦めそうになったかもしれない」 「それでも諦めないで頑張った嘉紀くん、すごいな」	「嘉紀くんはどんな気持ちになったかな」 ※プラス、マイナス両方向の意見が出るよう促す。時には指名する →「諦めなかった嘉紀くん」に再度注目する。	8
終末	5.振り返り	「頑張るって、目標に向かって諦めないことかな」 「自分の運動会に向かう姿、本当に頑張れているかな」 「運動会まであと4日、もっとこういうことを頑張ろう」	「嘉紀くんの姿を自分に返して考えよう」と問いかけ、「頑張ること」の中身について考えを深められるようにする。 振り返りを書かせる。◎ワークシート 「今日考えたことを、みんなの頑張りたいことにも生かしてみよう」	7
本時の評価:嘉紀くんの目標に向かって諦めずに頑張る姿から頑張ることについての考えを深め、自分の頑張りたいことにつなげることができている。(ワークシート)				